

霧多布地区コミスクだより

第2号

2020.12.18

Kiritapputiku CS Report No.2

今年度は、新型コロナウイルス感染症による影響で思うような活動ができず7月6日ようやく第1回学校運営協議会を開催することができました。例年であれば9月にも協議会を持つところですが、今年度は開催を見送り、11月25日に第2回学校運営協議会を開催いたしました。その際協議された様子についてお伝えいたします。



1 第2回学校運営協議会開催

○第2回学校運営協議会開催

- ・日時：令和2年11月25日（水）18：00
- ・ところ：浜中町立霧多布小学校 会議室



第2回学校運営協議会では、

(1)今年度の具体的な活動状況…①小中学校での活動推進状況、②小中9年間で目指す子供の姿にかかわって（組織体制の運営）、③今後の活動予定と対応、の報告。そして(2)『霧多布地区学校運営協議会スタンダード』及び『霧多布地区小・中9年間でめざす子どもの姿』の作成について、協議会メンバーでグループに分かれ熟議が行われました。

学校運営協議会メンバー ※他事務局2名

役職	委員	区分	備考
会長	島脇 秀俊	地域住民	共和町内会長
副会長	東海林 圭太	地域住民	霧多布地区
副会長	春日 良太	地域住民	霧多布地区
	大野 裕幸	地域住民	町子供会育協会長
	須川 和伸	地域住民	霧多布地区
	川原 亮	地域住民	霧多布地区
	箱石 憲博	地域住民	暮掃別町内会長
	渡部 幸平	保護者	霧中PTA会長
	吉崎 裕之	保護者	霧小PTA会長
	佐藤 岳彦	学校	霧中校長
	池田 倫知	学校	霧小校長

2 今年度の具体的な活動状況

①小中学校での活動推進状況の交流

・小中連携：授業参観、特別支援学級交流

授業参観日に参加し小中学校互いの児童生徒の様子を見合うことができました。また、特別支援学級の参観及び交流を行い、スムーズな中学校進学に向けて情報交換を行うことができました。3学期も継続していきます。



・小学校：夏休みラジオ体操学習支援（地域）ボランティア

学校運営協議会作成のパンフレットを配布し、夏休み期間に小学校グラウンドにて「夏休みラジオ体操」を開催しました。1週間程度の短い夏休み期間ではありましたが、10名前後の親子の参加があり、ラジオ体操第2まで元気に体を動かすことができました。コロナ禍もあってか、父子での参加が多かったですね。親子の触れ合いの場にもなっておりました。朝のラジオ体操はととても気持ちのいいものです。次年度はぜひもっと多くの参加を！



②小中9年間でめざす子どもの姿に関わって

・組織体制の運営

○小中連携部開催 10/20（火）15:00～霧中 実施

<出席者> 霧小（諏訪・鈴木・成田）霧中（大和・橋・高木）計6名

<内容> 1 小・中両校のスタンダードの検討

2 小中9年間でめざす子どもの姿の育成

（グラウンドデザイン作成、完成に向けての検討）

○広報部 ○学校支援部 →今年度活動見送り



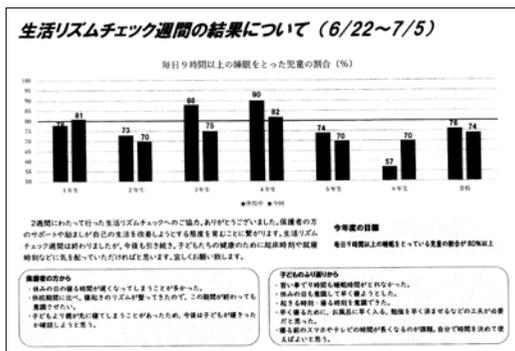
③今後の活動予定と対応

・地域と小・中学校の連携による活動、小・中学校の各活動→今年度見送り
コロナ禍の収束が見込まれず、今後の活動については見送ることとしました。

3 『霧多布地区学校運営協議会スタンダード』 及び『霧多布地区小・中9年間でめざす子どもの姿』

運営協議会の後半は『霧多布地区学校運営協議会スタンダード』及び『霧多布地区小・中9年間でめざす子どもの姿』の作成に向け、児童生徒の現状から協議会メンバーが3つのグループに分かれ熟議・交流を行いました。

①子どもたちの生活リズム（習慣）の現状～小・中学校の生活リズム



・小学校の現状

小学校では「毎日9時間以上の睡眠をとる児童の割合80%以上」をめざしていますが、現状は目標にわずかに届かないところです。「寝る前のスマホやテレビの時間が長くなるのが課題。自分で時間を決めて使えばよいと思う(児童)」「子どもより親が先に寝てしまうことがあったので、今後は子どもが寝きった

か確認しようと思う(親)」のような振り返りがありました。時間の管理は大人になっても必要な能力であり、学校・家庭・地域が一緒になって育てていくことが必要です。

・中学校の現状

中学校では、「睡眠時間」「ネット利用時間」「家庭学習時間」をチェック項目に生活リズムチェックを毎月行っています。現状としては、家庭学習時間が30～40分前後なのに対して、ネット利用時間が3時間前後とネット利用時間に比べて、家庭学習の時間が少なすぎるのが課題です。『バランスのとれた生活を送ること』『何かに偏り過ぎない生活習慣を身に付けること』が大切なことだと考えています。学校・家庭・地域が一緒になって育てていくことが必要です。

学年	起床時間	就寝時間	ネット利用時間	家庭学習時間
【1年生】	6月 22時54分	6時34分	7時間35分	2時間18分
7月 22時12分	6時48分	7時間36分	2時間32分	2分
【2年生】	6月 22時54分	6時18分	7時間35分	2時間35分
7月 22時36分	6時36分	7時間46分	2時間52分	3分4分

②生活リズムの現状についての熟議・交流

児童生徒の現状から、3グループに分かれ、下記の2つのテーマについて熟議・交流を行い、全体での発表も行いました。

・霧多布地区の子どもたちの「よい行動」「よい姿」

- 挨拶のできる子が多い。しっかり目を見て挨拶してくれる。挨拶がきっかけで会話にもつながることがあった。礼儀正しい子も多い。
- コロナ禍で感染予防の意識が高く、手洗いうがい徹底されている。
- 落ち着いて学習に取り組んでいる。

・「生活リズム(習慣)」について(子どもの実態と課題)

- ゲーム・インターネットの時間が長く生活リズムが崩れている。自制する力をつけていかなければいけない。タイムスケジュールを自分で考え実行できる子に育ってほしい。そのために地域として何ができるか…。
- SNSの危険性について、子どもたちには授業を通して伝えていくが、保護者への発信も必要ではないか。
- 生活リズムの乱れが忘れ物につながることもある。が、朝なかなか子どもと触れ合う時間が持てない。しかし、一声かけるかかけないか、そこも大事かもしれない。できることから。
- 今の子どもは“運動不足”⇒“つかれない”⇒“眠れない”ことで生活リズムが崩れている面もあるのではないか。昔は家業の手伝い等で生活リズムが作られていた。今は車文化(地域性)で歩く子どもも少なくなっている。身体を適度に動かすことも大事ではないか。
- 外で遊んでいる子を見かけなくなった。子どもたちの遊び方が変わってきている。“集まって遊ぶ”から“離れていても(ネット上で)遊べる”時代になってきている。

☆熟議・交流ではこのようなたくさんの意見がだされました。これをもとに、『霧多布地区学校運営協議会スタンダード』及び『霧多布地区小・中9年間でめざす子どもの姿』の作成を進めるとともに、次年度からの活動の計画につなげていきます。

学校運営協議会の今後の日程と協議

- (1) 次回会議 令和3年2月9日(火) 18:00~19:00 霧多布中学校
- (2) <内容(予定)>
 - ・今年度のCS推進の成果と課題、次年度のCS推進の方向性
 - ・学校関係者評価 ・次年度の開催予定、CS推進にかかわる確認 等